

資料



【資料1】

先生方へ

四街道市養護部会では、「多様な性を持つ子どもたちが自分らしく居られる学校を目指して～教職員を対象としたLGBT研修の取り組み～」というテーマで研修を進めています。研修を進めるにあたって、アンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。なお、このアンケート結果を、目的外で使用することはありません。

事前アンケート

LGBTに関するアンケート

校種 (小学校 ・ 中学校)
 経験年数 () ～ 10年
 【R2.4.1現在】 () 11年 ～ 20年
 () 21年 ～ 30年
 () 31年 ～

	設問	回答欄
1	「LGBT」という言葉を知っていますか。	知っている・知らない
2	「LGBT」についてそれぞれ説明が出来ますか。	出来る・出来ない

*「LGBT」を、この調査では、下記の通り定義します。

- L** レズビアン：女性の同性愛者（心の性が女性で恋愛対象も女性）
- G** ゲイ：男性の同性愛者（心の性が男性で恋愛対象も男性）
- B** バイセクシュアル：両性愛者（恋愛対象が女性にも男性にも向いている）
- T** トランスジェンダー：「身体の性」と「心の性」が一致しないため「身体の性」に違和感を持つ人

3	LGBTについて学ぶ必要性があると思いますか。	思う・少し思う・あまり思わない・思わない
4	これまでの教員生活で、LGBT（と思われる）児童・生徒はいましたか。	はい・いいえ
5	これまでの教員生活で、LGBT（と思われる）当事者またはその家族から打ち明けられたり相談をうけたりしたことはありますか。 *「はい」と回答した方へ それはどのようなこと（内容）ですか。	はい・いいえ []
6	*4・5の設問で、どちらか1つ、または両方に「はい」と回答した方へ。 LGBT（と思われる）児童・生徒への対応で困ったことがあったらそれはどんなことだったか記述して下さい。	[]

7	LGBT（と思われる）児童・生徒の相談にのり、対応する自信はありますか。	ある・少しある・あまりない・ない
8	過去1年間で、校内で性別に関する差別発言等を見聞きした経験はありますか。 例えば、「ホモ」「おかま」「男（女）のくせに」…など。	ある・ない
9	次の法律や通知を知っていますか。どれか1つでも知っているれば、「知っている」に○をつけてください。 ① 2003年「性同一性障害者の差別の取扱いの特例に関する法律」 ② 2010年 事務連絡「児童生徒が抱える問題に対するの教育相談の徹底について」における性同一性障害に係る児童生徒への対応について ③ 2012年「自殺総合対策大綱」における性的マイノリティへの教職員の理解促進について ④ 2015年「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細やかな対応の実施等について」	知っている・知らない
10	LGBTについて学校で教育する必要があると思いますか。 *「あまり思わない」「思わない」と回答した方へ なぜ「あまり思わない」「思わない」のか理由を教えてください。	思う・少し思う・あまり思わない・思わない []
11	先生ご自身が過去5年間に、LGBTについての研修会に参加したことはありますか。	ある・ない
12	今までに、性別で分けられない対応をしている、又は対応したことのある項目を○で囲んでください。	1 呼び方（敬称 さん） 2 制服（中学校のみ） 3 髪型 4 通学帽（小学校のみ） 5 合唱のパート 6 名簿 7 座席 8 整列の仕方 9 靴箱 10 委員会活動

お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

事後アンケート

先生方へ
 四街道市養護部会では、「多様な性を持つ子どもたちが自分らしく居られる学校を目指して～教職員を対象としたLGBT研修の取り組み～」というテーマで研修を進めています。先生方には、以前（月）にアンケートへのご協力をいただきました。誠にありがとうございました。
 今回再度、アンケートを実施させていただきます。私たちは、今回のアンケートで結果をまとめます。お忙しい中ですが、ご協力をよろしくお願いいたします。
 前回同様、このアンケート結果を、目的外で使用することはありません。

LGBTに関するアンケート

校種（小学校・中学校）

経験年数（ ）～10年
 【R2.4.1現在】（ ）11年～20年
 （ ）21年～30年
 （ ）31年～

質問書2

	設問	回答欄
1	「LGBT」という言葉を知っていますか。	知っている・知らない
2	「LGBT」についてそれぞれ説明が出来ますか。	出来る・出来ない

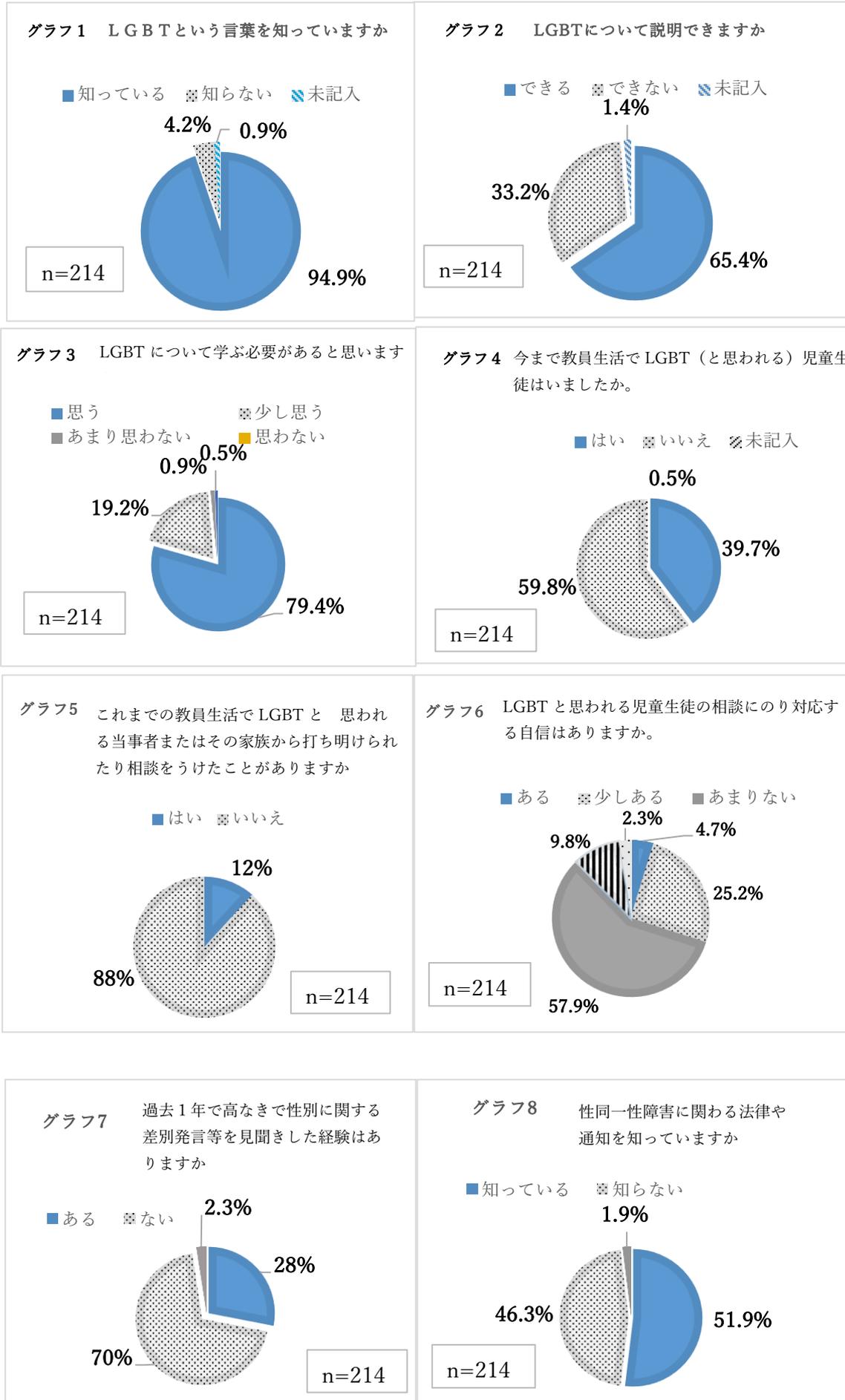
*「LGBT」を、この調査では、下記の通り定義します。
 L レズビアン：女性の同性愛者（心の性が女性で恋愛対象も女性）
 G ゲイ：男性の同性愛者（心の性が男性で恋愛対象も男性）
 B バイセクシュアル：両性愛者（恋愛対象が女性にも男性にも向いている）
 T トランスジェンダー：「身体の性」と「心の性」が一致しないため「身体の性」に違和感を持つ人。

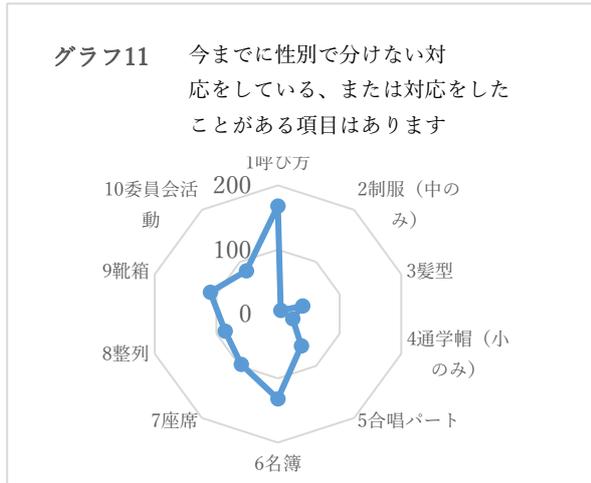
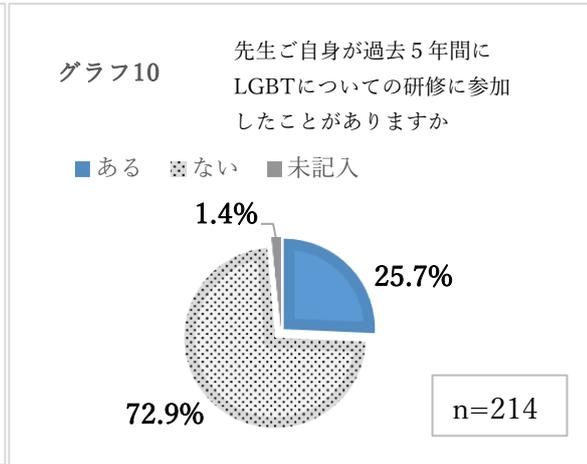
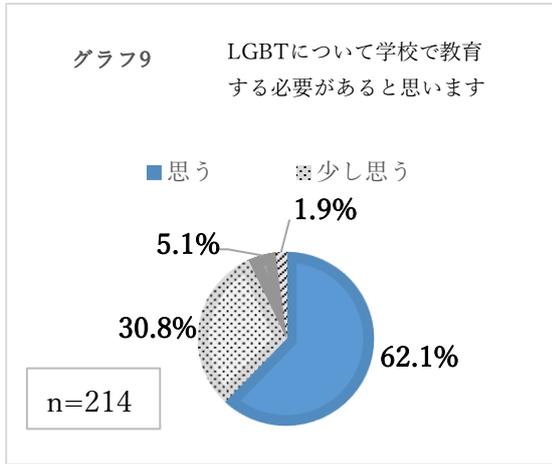
3	LGBTについて学ぶ必要性があると思いますか。	思う・少し思う・あまり思わない・思わない
4	LGBT（と思われる）児童・生徒の相談にのり、対応する自信はありますか。	ある・少しある・あまりない・ない

5	次の法律や通知を知っていますか。どれか1つでも知っていれば、「知っている」に○をつけてください。 ① 2003年「性同一性障害者の差別の取扱いの特例に関する法律」 ② 2010年 事務連絡「児童生徒が抱える問題に対するの教育相談の徹底について」における性同一性障害に係る児童生徒への対応について ③ 2012年「自殺総合対策大綱」における性的マイノリティへの教職員の理解促進について ④ 2015年「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細やかな対応の実施等について」	知っている・知らない
6	LGBTについて学校で教育する必要があるかと思いませんか。 *「あまり思わない」「思わない」と回答した方へ なぜ「あまり思わない」「思わない」のか理由を教えてください。	思う・少し思う・あまり思わない・思わない []
7	性別で分けられない対応が出来ると思われる項目を○で囲んで下さい。	1 呼び方（敬称 さん） 2 制服（中学校のみ） 3 髪型 4 通字帽（小学校のみ） 5 合唱のパート 6 名簿 7 座席 8 整列の仕方 9 靴箱 10 委員会活動
8	職員研修の際に配付した漫画入りの資料は役に立った（役に立ちそう）と思いますか。	思う・少し思う・あまり思わない・思わない
9	職員研修の感想をお聞かせ下さい。	[]

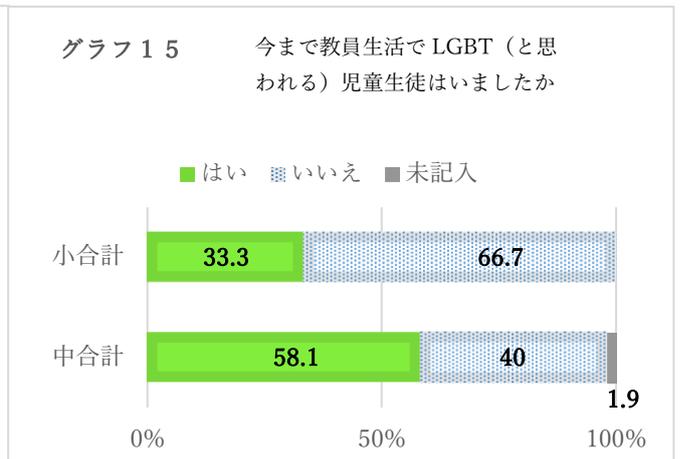
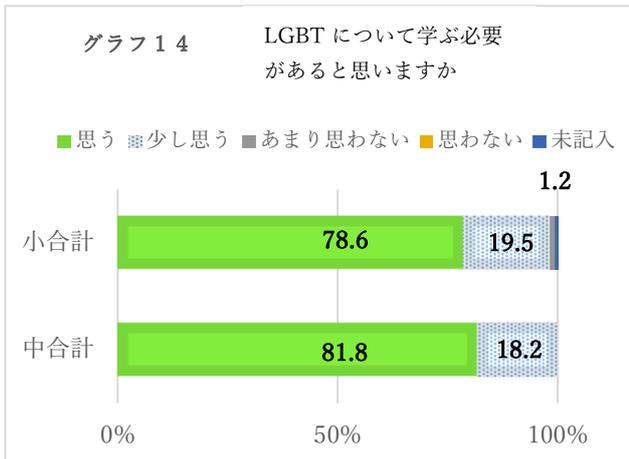
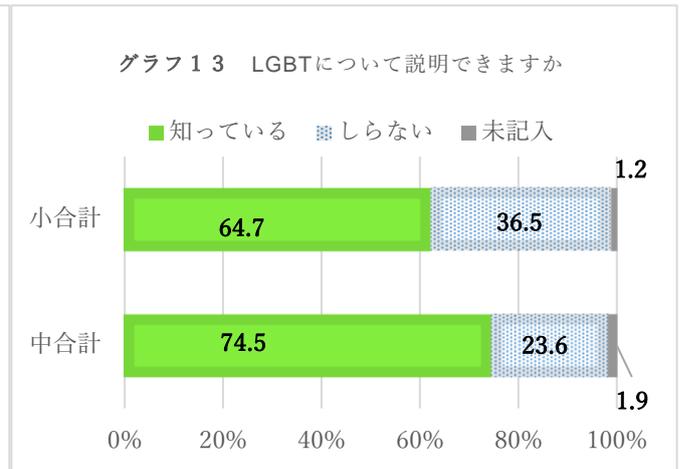
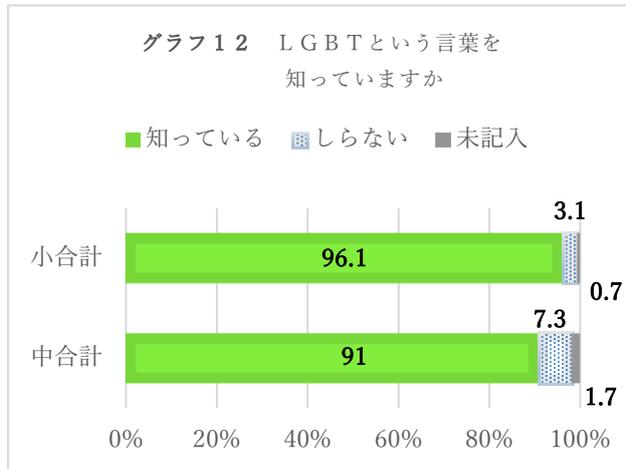
お忙しい中、ご協力ありがとうございました。🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸

<事前アンケート>

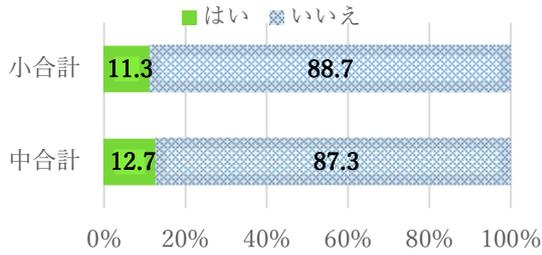




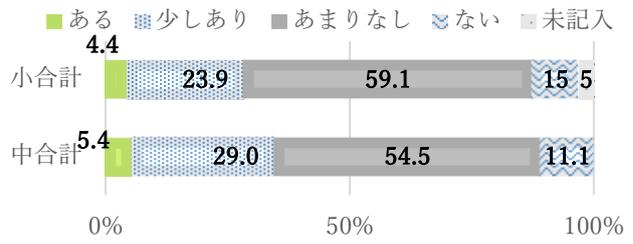
<小中別アンケート結果> 小 n=159 中 n=55



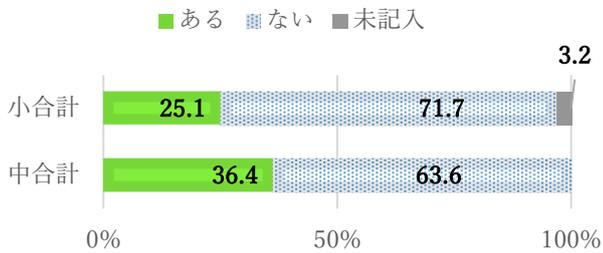
グラフ16 これまでの教員生活でLGBTと思われる当事者またはその家族から打ち明けられたり相談を受けたことがありますか



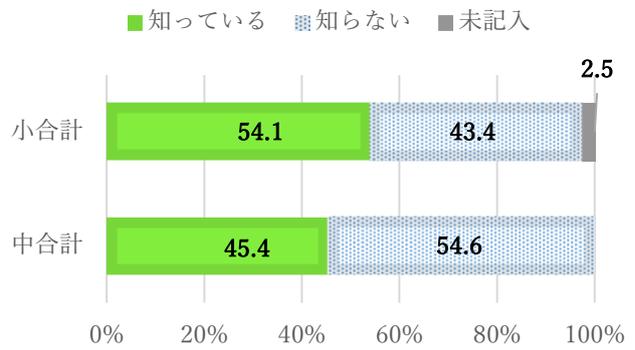
グラフ17 LGBTとおもわれる児童生徒の相談にのり対応する自信はありますか



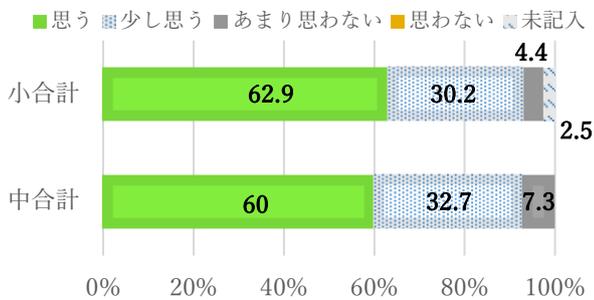
グラフ18 過去1年で高なきで性別に関する差別発言等を見聞きした経験はありますか



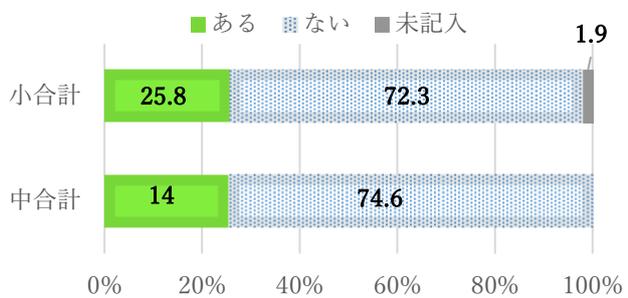
グラフ19 次の法律や通知を知っていますか



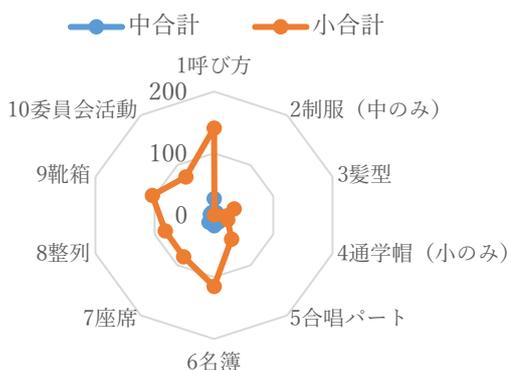
グラフ20 LGBTについて学校で教育する必要性があると思いますか



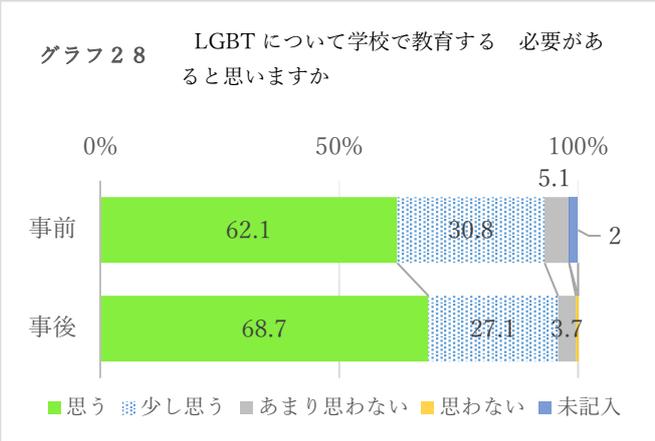
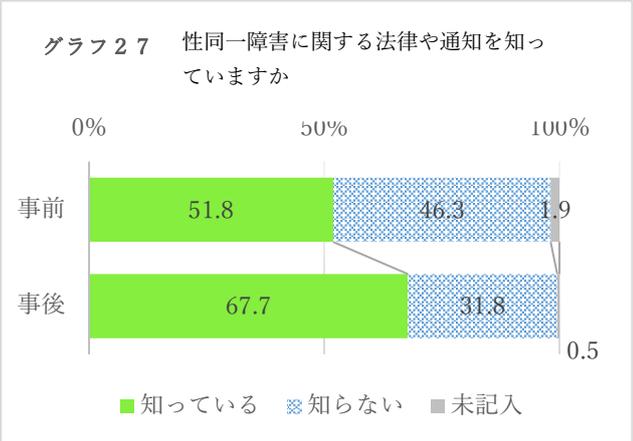
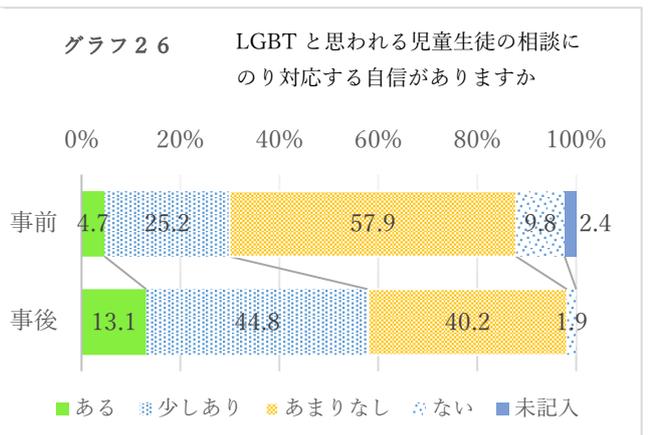
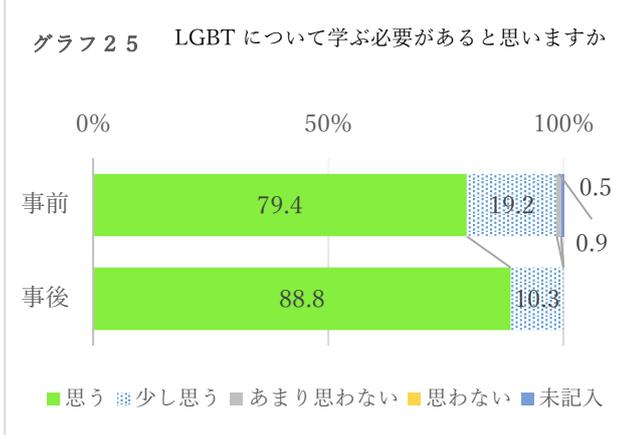
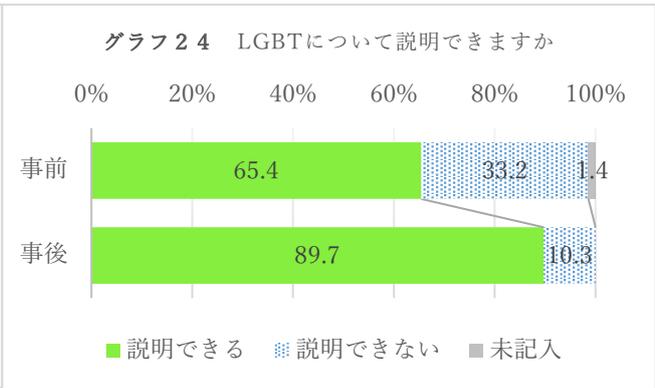
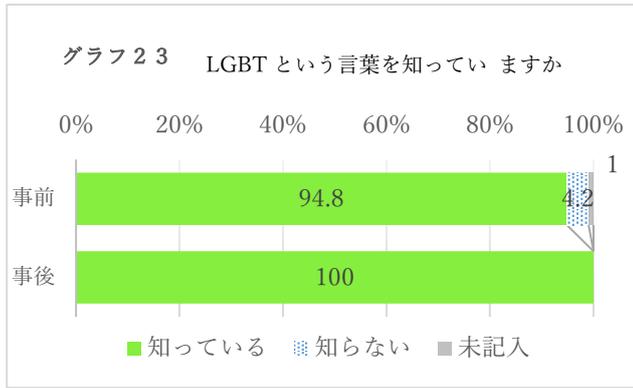
グラフ21 先生ご自身が過去5年間にLGBTについての研修に参加したことがありますか

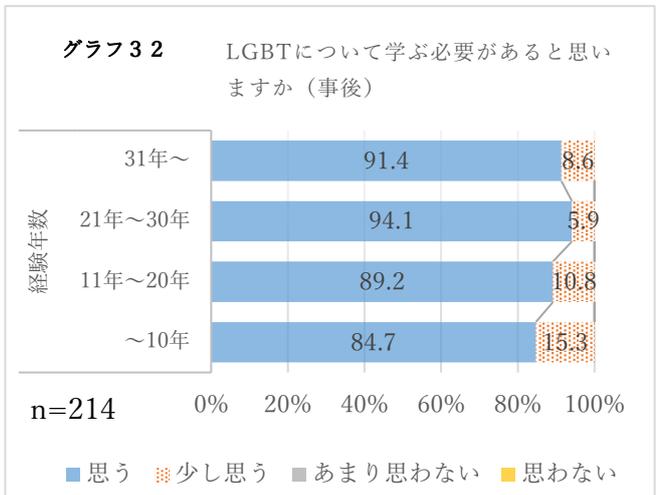
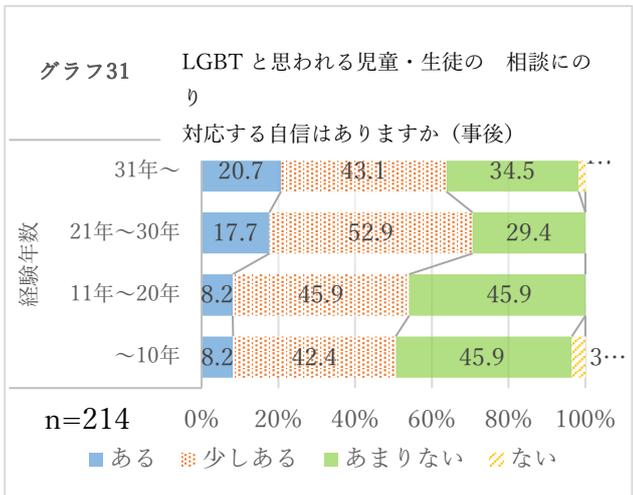
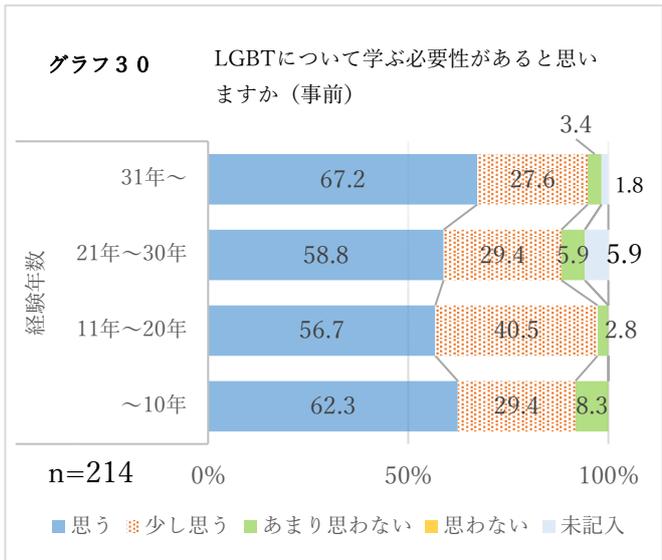
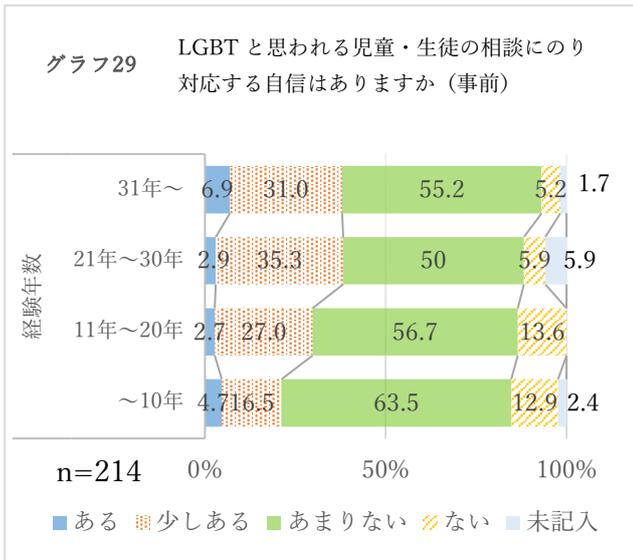


グラフ22 今までに性別で分けない対応をしている、または対応をしたことがある項目



<事前事後の比較> 事前 n = 214 事後 n = 214

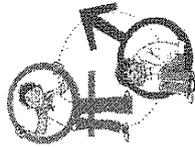




アンケートの記述部分

事前 問6 LGB T (と扱われる)児童・生徒への対応で困ったこと

- ・着替え時の対応 (小)
- ・中学進学にあたり制服をズボンにした女子児童がいた。(小)
- ・制服をとても気にしている児童がいた。(小)
- ・保護者との会話の中で確認できずにいた (小)
- ・体操服の着替え、トイレの使用場所、呼び方 (小) 3
- ・長髪と短髪の男子児童2名が転入してきた。短髪の方がLGB Tだった。男は目ではわからないこと。
- ・保護者がどの程度知っていて、どのように考えているか、本人からしか聞くことができないこと。信頼できず情報であるかわからないこと。(小)
- ・言葉づかい(男子のような言葉をつかう女子、逆も) 服装(保護者と協力して男子がピンク等着てもいいことをクラスで話し合った。(小)
- ・本人の心の不安定。様々な要因が考えられるため、本人の自覚がないため、声をかけられなかった。(小)
- ・保護者は悩んでいる様子が見られた。自分に知識がなく相談をすすめていくことができなかった。(小)
- ・男子と書われることに違和感がある。異性が好きというのに違和感がある。一どのような言葉で返答すべきか、打ち明けられた内容をどこまで共有するべきか。(小)
- ・男子児童が髪を伸ばしたり、フリルの服を好んで着ようしたり、していることで相談を受けたが、まわりへの児童への対応、伝え方。(小) 2
- ・男子児童が女子児童のような服装を好む対処法 (小) 3
- ・服を脱ぎたがらない男子児童 (小)
- ・生徒へ真に理解させること (中)
- ・男子生徒が髪を長くしたり、「O君」と呼ばれることに抵抗があり悩んでいた (中)
- ・名前呼び方 (中)
- ・指導するための知識がなかった。(中)
- ・女子生徒が男子の制服を着たいと言ってきたこと (中) 2



事前問10 LGB Tについて学校で教育する必要性があると思いますか？

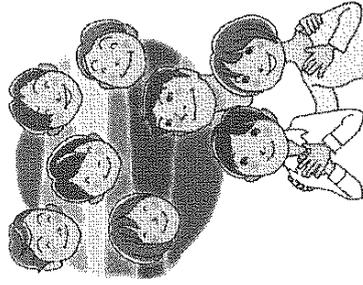
- ・教育の仕方にもよるがあの子はLGB Tだとわかるのが怖い。(小)
- ・小学校において必要性を感じない (小) 2
- ・ノーマルの人はあえて自分がそうであると言わない。LGB Tもカミングアウトする必要はない。基礎知識は教育すべき (小)
- ・性的マイノリティでなかったとして公言するわけではないので、他の性教育と同じくらい扱えばよい(小)
- ・過剰になりすぎてもよくないのでは (小)

事後問6 LGB Tについて学校で教育する必要があると思いますか？

- ・特別な教育ではなく「こういう人もいるんだよ」くらいの時間があれば柔軟に考えるかが子どもたちにはあるので理解も容易かなと思います。(小)
- ・差別意識を持たせしてしまうかもいけない。LGB Tなのか他の要因なのか慎重な判断が必要。(小)
- ・逆に差別を生みかねない (中)

事後問9 感想をお聞かせください

- ・まだ会ったことがないので実際にどのような対応ができるかわからない。(小)
- ・具体的事例があるとわかりやすい。(小)
- ・子どもたちにどのように理解させていくかが課題 (小)
- ・愛知県取り組みの「誰でもトイレ」は廊下から見えにくくするなどは良いが、学年があがるにつれて性別犯罪などにつながっていないか心配。(小)
- ・個別に対処しどこまで社会が対応するのか、優しい世の中をあてにすぎないようにすることも危機感を覚える。
- ・時代の流れが速すぎてついていけない人もいる。その人たちにもう少し寛容であってほしい。(小)
- ・ニュースや雑誌でも目にとまるようになった。(小)
- ・身体的な性差についてはどうしてあげればいいのかわからない (小)
- ・(性別で分けられない)対応ができると思われる項目について) 全部実行したいですね (中)
- ・具体的な事例を巻いて話し合う機会が持てたことがとてもよかった。(中)
- ・男子女子という枠組みではなく生徒個人に寄り添った教育が求められている。教員が常に子どもたちが自分らしくいられる学校づくりをしていくべきと感じます (中)
- ・「Oさん」で呼ぶように変えるきっかけとなった (中)
- ・研修によって全職員がLGB Tへの意識が高まっているので相談しやすい環境になった。(中)
- ・男女の在り方というよりひとりひとりの個性を大切にすることを先生方が意識していればよい (中)
- ・本人の幸せが大切というのが一番その手助けができたらよい (中)
- ・周囲の理解を得るために児童に指導が必要だと思う (小)
- ・主人が教員ですが、「アンケートでなら理解のあるフリ(嘘)をいくらでも書ける」と言っており、実際は差別発言もします。これから、子どもたちが相談する際、本当に理解してくれる職員(大人)を選べるようになってほしいと思います。



相談されたときの3ステップ

1. 聴く

初めて人に話すという子も少なくありません。安心して話せる環境をつくり、傾聴してください。また、「話してくれてありがとう」を伝えるなど、その子が今後も安心して相談できるような声かけをしてください。

2. いっしょに考える

困りごとがある場合も、その内容は一人ひとり異なります。困りごとや求める対応について聞き、できる対応を考えてください。希望の実現が難しい場合は、気持ちを受け止めた上で、共に代替案を考えてください。

3. つなげる

相談機関や自助団体、書籍・DVDなど、必要に応じて伝えてください。相談機関は、先生自身も匿名性を守りながら利用することができます。

2つの「+」

1. 決めつけない

自分のセクシュアリティを決められるのは、自分だけです。「思い過ごしじゃないか?」「いつか“治る”よ」など、本人のセクシュアリティを否定したり、「だったらレスビアンじゃないの?」など、決定を促したりしないでください。セクシュアリティは迷ったり、決めないでいたり、いつ変わってもいいのです。なにかにあてはめようとせず、その子をそのままに受け止めてください。

2. 広めない（勝手に共有しない）

セクシュアリティが意図せず他の先生や、保護者、生徒に伝わることで学校・地域で安全に過ごせなくなる場合があります。生命の危険等緊急性の高い場合を除き、情報共有が必要な場合は、共有して良い範囲を本人に確認し、了承を得ることが望ましいです。

★年度初めや決められた月に学校全体や学級で、性の多様性について肯定的に児童生徒に伝える機会を設けることが必要

学校・学級の環境として、セクシャルマイノリティや多様な性について肯定的にとらえていることを発信しているか

セクシャルマイノリティが笑いのネタにされていたら、他の人権問題と同様に扱われ注意されているか（例：ホモ・おかま・レズ・おなべ・オネエなど）

学級や保健室、相談室、図書室など多様な性についての本や資料が児童生徒の手に取りやすいところにある環境か

相談窓口一覧

【資料 4】

【来所・面接】

窓口名称	主な内容	相談先・電話番号	対応日時
こころの健康相談	精神科医師による心の悩みをお持ちの方やその家族の相談	障害者支援課（四街道市役所） 043-421-6122	年 2 回（予約制）
街かど心の相談	精神保健福祉士による心の悩みをお持ちの方や家族の相談	障害者支援課（四街道市役所） 043-421-6122	年 5 回（予約制）
子どもと親のサポートセンター	学校生活や心や身体のこと等、本人、保護者、教職員に対しての相談	子どもと親のサポートセンター 0120-415-446	電話相談：24時間 来所相談：月～金曜日 9:00～17:00
立ち寄り処 ちば心のキャッチ	こころの問題全般の対面相談	千葉県臨床心理士会（千葉県委託） 080-2051-0658 会場：船橋 FACE5 階 船橋駅前総合窓口相談室	毎週水曜日 17:00～20:00 第 2 土曜日翌日の日曜日 14:00～17:00 予約不要

【電話】

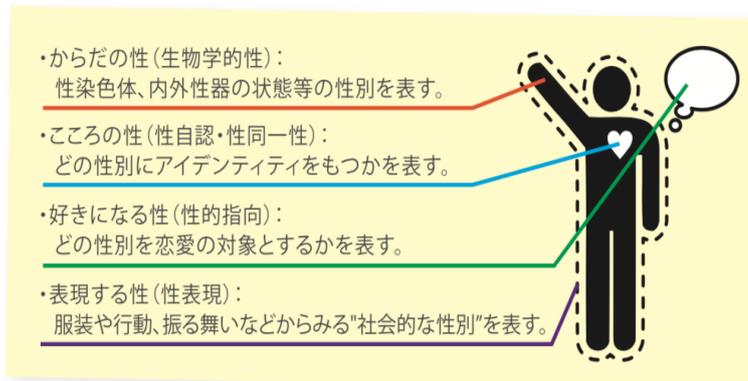
窓口名称	主な内容	相談先・電話番号	対応日時
精神保健福祉に関する相談	心の健康・アルコール・ひきこもり・思春期等	千葉県精神保健福祉センター 043-263-3893	月～金曜日 9:00～18:30
千葉いのちの電話	自殺をはじめとする精神的危機に直面し、助けと励ましを求めている人の電話・インターネット相談	社会福祉法人千葉いのちの電話事務局 043-227-3900	365 日 24 時間 https://www.chiba-inochi.jp (1 週間以内に返信)
よりそいホットライン	どんなひとの、どんな悩みにも寄り添って、一緒に解決する方法を探す窓口	一般社団法人 社会的包摂サポートセンター 0120-279-338	365 日 24 時間
こころの健康相談統一ダイヤル	電話をかけた所在地の公的な相談機関に接続（千葉県精神保健福祉センター）	厚生労働省（国） 0570-064-556	月～金曜日 9:00～18:30
24 時間子供 SOS ダイヤル	電話をかけた所在地の教育委員会の相談機関に接続	0120-0-78310	365 日 24 時間
子どもの人権 110 番全国共通フリーダイヤル		0120-007-110	
チャイルドライン 18 歳までの子どもがかけるでんわ		0120-99-7777	

* 対応日時は変更になる可能性もあります。事前に電話で確認をしてください。

LGBTとは何か ～教育現場でなぜLGBT?～

性のありかたは見た目だけではわからない

性のありかた（セクシュアリティと呼ぶこともあります）は「こころの性」「からだの性」「好きになる性」「表現する性」の4つの軸で考えることができます。



からだの性(生物学的性) 身体つき、遺伝子などの生物学的な性

女 男

こころの性(性自認・Gender Identity) 自分が認めている性別

女 男

好きになる性(性的指向・Sexual Orientation) 好きになる相手の性別

女 男

表現する性(社会的性) 服装、しぐさ、言葉遣いなど

女 男

セクシャルマイノリティの人たちをあらわす言葉

「男性」か「女性」の二通りだけではない性のありかたをしている人たちが自分たちの性のありかたを前向きにとらえる表現として使いはじめたので「LGBT」という表現です。「LGBT」という言葉は以下に示すようないろいろな「セクシャルマイノリティ(性的少数者)」の人たちを総称するときに使われることもあります。

○いろいろな「好き」をあらわす名前

L レズビアン (女性同性愛者) こころの性が女性で、女性を好きになる人。

G ゲイ (男性同性愛者) こころの性が男性で、男性を好きになる人。

B バイセクシュアル (両性愛者) こころの性がどうであるにかかわらず、男性も女性も好きになる人。

○こころの性とからだの性の関係

T トランスジェンダー 生まれたときのからだの性をもとに割り当てられた性と、こころの性が異なる人

FtM (Female to Male): 生まれたときのからだの性は女性で、こころの性は男性の人

MtF (Male to Female): 生まれたときのからだの性は男性で、こころの性は女性の人

Xジェンダー: からだの性がどうであるにかかわらず、こころの性が男女どちらでもある人、どちらでもない人、男女の中間の人など

他には、ヘテロセクシャル(異性愛)やアセクシャル(無性愛)などがあります。

自分のこころの性とからだの性が合っていると感じている人のことをシスジェンダーと言います。

LGBTの人たちは身近にいるのか?

これまでいろいろな企業や研究所で調査が行われてきましたが、それらの調査結果によると、LGBTの人は日本の人口の約8.9パーセント程度とされています(13人に1人の割合)。この比率は日本で多い名字の上位6位である「佐藤」「鈴木」「高橋」「田中」「渡辺」「伊藤」の人が人口に占める比率とほぼ同じです。

教育現場で取り扱う必要があるのか?

平成27年4月30日文部科学省から「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細やかな対応の実施等について」という通知が出され、学校でセクシャルマイノリティの子どもの支援や理解向上に努める必要性が明記されています。

出典・参考資料: 『「ふつう」ってなんだ? LGBTについて知る本』『多様な性ってなんだろう?』

性同一性障害に係る取組の経緯があります

性のあり方の多様性を認め、尊重する動きが社会全体に広がりつつあり、医療や法律面での対応も進んでいるようです。学校現場でも、LGBTへの対応が求められています。



2003年（平成15年）「性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律」の成立

性同一性障害を抱える者における社会生活上のさまざまな問題を解消するため、法令上の性別の取扱いの特例を定めたもの。「性同一性障害者」で要件を満たす者について、他の性別に変わったものとみなすこととする。家庭裁判所の許可により、戸籍上の性別の変更が認められる。

要件を満たせば、性別の変更は可能です。戸籍の変更も認められます。

2010年（平成22年）「児童生徒が抱える問題に対する教育相談の徹底について」 文部科学省より事務連絡

「各学校では、学級担任や管理職を始めとして、養護教諭、スクールカウンセラーなど教職員等が協力して、保護者の意向にも配慮しつつ、児童生徒の実情を把握した上で相談に応じるとともに、必要に応じて関係医療機関とも連携するなど、児童生徒の心情に十分配慮して対応をお願いいたします。」とある。

学校での対応を依頼されていました！

2012年（平成24年）「自殺総合対策大綱」閣議決定

「自殺念慮の割合等が高いことが指摘されている性的マイノリティについて、無理解や偏見等がその背景にある社会的要因の一つであると捉えて、教職員の理解を促進する。」とLGBTは自殺におけるハイリスク層であると明記されている。

LGBTの若者600名のアンケートで、約3割が「自殺を考えた」と答えています。

2015年（平成27年）「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」 文部科学省より通知

性同一性障害に係る児童生徒についての特有の支援～学校における支援体制、医療機関との連携、学校生活の各場面での支援（服装、髪型、更衣室、トイレ等）についてまとめられている。

学校で配慮すべき基本的事項がわかりやすく書かれています。

本校の先生方からのアンケート結果より：

上の法律や通知を一つでも知っているとした人

本校____名中 ____名（____%）

認知度は低かったです。

LGBT研修指導資料

第1回研修会 「LGBTとは何か?～教育現場でなぜLGBT?～」

<p>導入</p>	<p>みなさん、まず配付しました資料の漫画をお読みください。 これから第1回目のLGBT研修を行います。初回のテーマは、基礎知識と教育現場で取り扱う必要性についてです。 この漫画の主人公白石君は、男子です。可愛い物が好きで女子とも話が合うようです。しかし、周りの男友達は、男が可愛い物を身に付け、女子と仲良くしている白石君に違和感を感じています。女友達からは「男の子なんだから、言い返した方がいいよ。」と言われています。帰宅すると、更に母親から「またそんな女の子みたいな物つけて」とダメだし・・・主人公の白石君は「男らしいって何だろ・・・」と悩んでいます。</p>
<p>展開</p>	<p>資料の裏面をご覧ください。 まず「性のありかた」についてお伝えします。 「性のあり方」は「セクシャルティ」と呼ぶこともあります。性は「からだの性」「こころの性」「好きになる性」「表現する性」の4つの軸で考えることができます。「からだの性」とは遺伝子などの生物学的な性。「こころの性」とは自分が認識している性。「好きになる性」とは好きになる相手の性別。「表現する性」とは服装、しぐさ、言葉使いなどです。 右上の資料を見てもえればわかる通り、4つの軸にはそれぞれ幅があります。4つの軸とも完全に男・女、左右のどちらから末端に決まっているケースもあれば、中間の場合、ややどちらかに寄っている場合等・・・性のあり方は人の数だけあると言っているほどです。よって外見や言動のみで「こころの性」を推測することは困難です。ましてや、本人が自身のセクシャルティを曖昧にとらえている・迷っている場合には、周囲がセクシャルティを推測して決めつけることが、本人の気持ちや混乱させたり、アイデンティティを育てていくための障害になったりすることがあります。 次にLGBTとは何か? 先生方にとったアンケート結果から_____学校の先生方はほとんどのの方がLGBTとは何かご存じであり、説明もできると回答されていました。詳しい説明は省きますが、L・G・Bはいろいろある「好き」をあらわす名前の頭文字。Tはからだの性とこころの性が異なる人、トランスジェンダーの頭文字です。L・G・B・Tと並列に並んでいます。LGBTとTにはこのように相違点があります。セクシャルマノリティの人達は、自分達の性のあり方を前向きにとらえる表現として使いはじめたのがLGBTという言葉です。 では、実際に、LGBTの人達は身近に居るのでしようか? 企業や研究所の調査結果によると、日本の人口の約8.9%。13人に1人の割合で居ると言われています。この比率は日本でも多い名目の上位6位である「佐藤」「鈴木」「高橋」「田中」「渡辺」「伊藤」の人が人口に占める比率とほぼ同じです。如何ですか?思ったよりも多くないでしょうか? 次に、性同一性障害に係る取組の経緯を4つ載せました。次頁をご覧ください。 2003年「性同一性障害の性別の取扱いの特例に関する法律」要件を満たせば性別の変更が可能。戸籍の変更も認められるようになりました。 2010年文科省からの事務連絡で、学級担任や管理職を始めとして、養護教諭、スクールカウンセラーなど教職員が保護者の意向にも配慮しつつ、実情を把握した上で相談に応じ、関係医療機関とも連携するなど、学校での対応を依頼されました。 2012年「自殺総合対策大綱」では、LGBTは自殺におけるハイリスク層であると明記され、教職員の理解を促進するとされました。 2015年文科省より、学校で配慮すべき基本的事項（服装、髪型、更衣室、トイレ等）が通知されました。 また、裏面の新聞記事をご覧ください。今年度の小学校の体育教科書、発展的な内容として</p>

<p>性的マノリティについて取り上げられています。</p>	<p>まとめ LGBTの人達、生徒達は思ったよりも身近に居ること。また、その身近に居るのであるう生徒が自殺におけるハイリスク層であることを受け、私達、市内養護教諭は教育現場で取り組む必要性があると思ひ、研究することとしました。このLGBTと言ふ言葉は10年位前まで世の中ではほとんど知られていませんでした。そんな時代に「自分の性のあり方は他の人と違ふかも」と悩んでいた子供達は、自分がいつか何者なのかわからない。情報が少ないために同じ悩みを持った人が他に居ること知らない。とても苦しい思いをした子供も多かったことと思ひ、これから相談する相手を見つけてあげたい。正しい知識を持って居る人があまり居ないです。10年前と比べると今は情報が広く発信されるようになり、LGBTの人達の気持ちや権利を守ろうとする活動も広がっています。学校現場でも、LGBTをテーマに研修する機会が増えました。 私達、教職員が「知る」ことで、学校も少しずつ変わっていくのではないのでしょうか?LGBTの子供が過ごしやすい学校は、やがて全ての子供にとっても過ごしやすい学校になるのではないのでしょうか。先程のマンガの主人公、白石君が「男らしいってなんだろう・・・」と悩むことなく、「男らしさ、女らしさ」ではなく「自分らしさ、その人らしさ」が尊重される社会や学校になれば・・・そんな思いから、あと3回、研修をさせていただきたいと思ひます。次のテーマは「学校としてできること①～本人への心の支援～」です。宜しくお願いいたします。</p>
-------------------------------	--

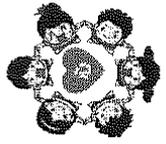
LGBTに関する教職員研修（ワンポイントアドバイス）

実施月	事前アンケートの実施	研修のポイントや資料の使い方など	資料
4月	事前アンケートの実施		事前アンケート
5月	第1回研修会 「LGBTとは何か」 「教育現場でなぜLGBT?」	<p>*先生方の中には、『うちの学校にはいないのに・・・』と思っている方がいるかもしれません。表現してないだけで、いるかもしれないことに気づいてもらいたいです。</p> <p>*「男のくせに～」「女なのに～」と安易に使っていいか考えてもらおうのもいいでしょう。</p> <p>*「LGBT」の意味も理解してもらいましょう。</p> <p>*教育現場でLGBTを学んでいかなければならない理由は、身近に（クラスに）いる可能性があること 法律や文科省の通知でも必要性が明記されていることが挙げられます。</p>	LGBT①の資料の表面に漫画「男らしいってなんだろう」を印刷 別紙の「性別紙の「性同一性障害に係る取組の経緯があります」を印刷
7月	第2回研修会 学校としてできること① ～本人への心の支援～	<p>*セクシュアリティは見た目では判断できません。相談を受けた時の最初の一言が大事になります。</p> <p>LGBTはある日突然コミュニケーションが断たれるので事前には慌てないよう理解しておく必要があります。</p> <p>*日常生活の中でも、LGBTの人は必ずいるという前提で話をすべきでしょう。とくに、「異性を意識したり、好きになっただけでいいから」という内容の発言はしていませんか？</p> <p>*思春期は、自身のセクシャリティに気づくLGBTの子どもの数が多いと言われています。第2次性徴が始まったり、周囲で恋愛の話題が増えたりすることなどから自分のセクシャリティを意識する機会が増えるためだと考えられます。</p>	LGBT②の資料 「見えない未来」を印刷 「相談窓口一覧」を印刷
8月	予備月		
9月	第3回研修会 学校としてできること② ～周囲の偏見への対応～	<p>*日ごろから「何かあれば聞くよ」というメッセージを送ることで味方であるサインになります。</p> <p>例えば性別に関するニュースを肯定的に話題にする、男らしさ・女らしさを強調しないなど色々あります。</p> <p>*ロールプレイングで「ホモ・おかも」などからかわれている場面にどう声がけするか考えてもらおうのもいいでしょう。LGBTだからと身構えず、その人の人権問題と同様に対応してみてもとアドバイスしてみても</p>	LGBT③の資料 「本当の自分を出してもいい？」を印刷

11月	第4回研修会 学校としてできること③ ～環境面での支援～	<p>はいかがでしょうか。「自分の考えだけで、ほかの人を馬鹿にしてはいけない」と考えるきっかけにもなります。</p> <p>*事前事後のアンケートにかかわってききます。</p> <p>*自校の実態を振り返り変えられることはないか具体的に考えてもらうといいですね。</p> <p>考える場合も、一緒にするのが難しい場合でも、時間をずらすなど個別の対応で解決できることもあることに気づける機会になります。</p> <p>*中学校の場合、担当している教科で考えてもらうのもいいかもしれません。</p> <p>*興味を持って頂けたら、教員向け資料の紹介を。 書籍</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふつうってなんだ？LGBTについて知る本」 ReBit 監修 殿ヶ谷業由記 漫画 学研プラス ・「LGBTってなんだろう？自認する性・からだの性・好きになる性・表現する性」 薬師実芳 他著 合同出版 ・「先生と親のためのLGBTガイド」 速藤まめた著 合同出版 <p>DVD</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの選択肢「多様な性を理解する教育」 ストリップイットジャパン <p>その他ダウンロード</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ReBit http://rebitlgbt.org/project/kyozai ◆新設Cチーム http://www.ocon.zaq.ne.jp/ouihd703/ 	LGBT④の資料は漫画「窮乏な学校生活」を印刷
12月	事後アンケートの実施		事後アンケート

<共通理解事項>

- ・職員会議終了後に実施。各校の実態に合わせて終礼後または夏休みに実施する。
- ・実施月は基本変えない。（該当月に実施出来なければ、翌月でも良い）8月を予備月とする。
- ・場所は、職員室を基本に、各校で実施しやすい場所で行う。
- ・導入（2分）、情報提供（6分）、まとめ（2分）計10分で行う。
- ・研修終了ごとに、振り返り用紙（所要時間、教員の反応、良かった点、改善点）に記入する。
- ・振り返り用紙は次回研修日に持ち寄り、実施方法や研修資料の見直しを行う。



学校 氏名

【実施日】

【何の時間に行ったか？】 例：職員会議後，研修等

【実施時間】

_____ : _____ ~ _____ : _____ 計 _____ 分

【職員の反応】

【良かった点】

【反省点】

【次回への改善点】

【その他】 シナリオ以外の方法で実施した場合は詳しく教えてください